



真名子小だより 3月号

えが お

教育目標
進んで学ぶ子
思いやりのある子
笑顔はじける元気な子

3月 
令和2年 3月19日
発行者 布川嘉英

年末から徐々に世界に広がりつつある新型コロナウイルス感染症。その感染拡大防止のために、3月2日より全国的に臨時休校という、これまでに無い対応がとられることになりました。すべてが「今年度最後の…」となるはずの3月でしたが、思わぬ事態となってしまいました。こんな状況ですが、子どもたちが元気で自律的な生活が送れるよう、また、地域全体の健康を守れるように、皆様のご理解と協力をお願いいたします。



学校開放日 2月5日

今日は授業参観。6年生は卒業式に使うコサージュを制作し、親子そろっての昼食。3・4年生は豚汁を作りました。各学年とも、お父さん、お母さん方に来ていただき、張り切って授業に取り組みました。



6年生コサージュ制作



3・4年生は豚汁に舌鼓

地域の皆様からのご指導ありがとうございました 「感謝の会」 2月12日



児童代表お礼のメッセージ



鉢花のプレゼント



輪になって会食

1年間お世話になった学校支援ボランティアの皆さんに感謝の気持ちを表す会が開かれました。本校ではいつも地域内外の皆様を支えられて、子どもたちは明るく素直に育っています。感謝の会では、お礼のメッセージや鉢花のプレゼント、子どもたちからの歌、そして会食が行われました。次年度もぜひ、本校の子どもたちのために力をお貸しください。よろしく願いいたします。

児童集会(委員会成果発表) 2月25日

各委員会から、1年間の活動を振り返り、その成果の発表を行いました。健康、図書、環境美化、放送・給食の4つの委員会に所属する4～6年生一人ひとりが、これまでがんばってきたことをしっかりと話しました。

年度始めの委員会活動の抱負を発表する会の時に、私(布川)から「人のために働ける人になってください」と全校児童に話しました。その言葉通り、子どもたちは委員会の責任をよく果たし、真名子小の仲間のために働いてくれました。



放送・給食委員会の発表

卒業記念書道作品制作

2月18~20日



大塚幸一先生の指導を仰ぎ、6年生が卒業書道の特別授業を行いました。一文字一文字に気持ちを込め、1枚仕上げるためかなりの集中力を要する書道。2時間ずつ3日連続の授業でしたが、子どもたちは日を追うごとに腕を上げ、力強い作品を書き上げました。これらの作品は卒業式当日、会場に展示されます。

6年生ありがとう!

「6年生を送る会」

2月28日



6年生を迎えて



在校生が進行係



輪になって歌おう



グループでゲーム



5年生が中心になって企画や進行を務め、『6年生を送る会』が開催されました。ゲームや歌で楽しい時間を過ごしました。また、在校生一人ひとりが6年生に感謝のメッセージを送り、とても感動的な場面でもありました。3月から休校となり、この日が3学期の最終日となってしまいました。とてもいい思い出の会になりました。

6年生、皆さんの6年間の活躍を讃えます。今まで本当にありがとう。



記念苗木をプレゼント

地域の皆様、保護者の皆様には1年間たいへんお世話になりました。子どもたちの教育と健全な育成には学校・家庭・地域が支え合い、一体となって取り組むことが不可欠です。過去（布川が子どもの頃）には、どこの地域にも当たり前のようにあった姿でしたが、少子化や核家族化が進み、暮らし方も変わりました。しかし、真名子地区にはその大切なものがまだ残されていると感じます。そのような姿を大切にしていきたいと思えます。次年度もよろしくお願いいたします。